

令和7年度入学者募集要項

山形県立小国高等学校

〒999-1352

西置賜郡小国町大字岩井沢 621 番地

TEL (0238)62-2054(代)

FAX (0238)62-2055

令和7年度県立高等学校入学者募集についての山形県教育委員会の公告に基づき、次のとおり入学者を募集する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れに関する方針）

- 小国高校の特色を理解し、地域社会の中で自ら学ぼうとする生徒を募集します。
- チャレンジ精神を持ち、周りの人々と協働しながら学習や諸活動に主体的に取り組もうとする生徒を募集します。
- 心身ともに健康で、将来、社会に貢献しようという意欲のある生徒を募集します。

I 連携型入学者選抜

I 志願

(1) 志願資格

令和7年3月に連携型中高一貫教育を行う小国町内の中学校を卒業する見込みの者。
連携型中高一貫教育を行う中学校に在籍している者が本校に出願する場合は、やむを得ない事情のある場合を除き、中高一貫教育における連携型入学者選抜によるものとする。

(2) 募集する学科及び人員

全日制の課程 普通科 入学定員40名内の人員

(3) 志願制限

- ① 中高一貫教育における連携型入学者選抜と推薦入学者選抜及び前期（特色）選抜の併願はできない。
- ② 本校が行う推薦入学者選抜には、本校に係る連携型中学校の生徒は志願することはできない。

(4) 出願

① 出願に必要な書類

ア 連携型入学願書

「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

なお、東日本大震災により被害を受けたと認められる場合は、入学者選抜手数料及び入学料免除を受けることができる。詳細は以下のURLまたは右のQRコードを参照すること。



<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/shingakushien/jukenryo.html>

イ 「学習のまとめ」レポート

「白い森学習」における探究的な学習活動の中で、何に課題意識を持ち、どのように調査・研究し、何を学んだか等についてレポートにまとめる。課題解決能力、思考力・判断力、表現力の観点から評価する。

② 書類の提出

連携型入学願書及び「学習のまとめ」レポートは、令和7年1月20日（月）から1月24日（金）12時までに提出すること。

2 面接

志願者について、次により面接を行う。

(1) 期 日 令和7年2月3日（月）

(2) 集合時刻 11時以降とし、受検者により異なる。詳細は中学校を通して連絡する。

(3) 受付場所 本校正面玄関（事務室前）

(4) 形 態 個人面接

(5) 内容と方法

「学習のまとめ」発表（5分程度）及び面接（10分程度）

「白い森学習」で学んだ内容について発表する。情報教育を通して育まれた発表力について、主体性、情報機器を活用する力、思考力・判断力の観点から評価する。

また、その発表内容についての質問及び本校の志望理由や生徒自身の経験などについて質疑応答を行う。主体性、思考力・判断力、表現力、地元への関心の強さの観点から評価する。

(6) 携帯品 受検票、上履き、発表のための機器・資料等

(7) その他

各受検者の受付時間及び検査時間等については、令和7年1月27日（月）までに在籍中学校長を通して連絡する。

3 選抜

(1) 選抜は、学力検査を行わず、「学習のまとめ」レポート、「学習のまとめ」発表及び面接に基づいて行う。

- (2) 選抜結果については、「連携型入学者選抜結果通知書」を中学校長あて、親展扱いで、簡易書留郵便にて令和7年2月10日（月）必着で送付する。合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は、令和7年3月17日（月）14時に行う。「合格者受検番号一覧」を合格者発表専用 Web サイトに掲載するとともに、本校正面玄関前に掲示する。なお、合格者発表専用 Web サイトへのアクセス方法については、後日、受検票とともに配付する。

4 その他

- (1) 「学習のまとめ」レポートの作成及び「学習のまとめ」発表については 4～5 ページを参照すること。
- (2) 連携型入学者選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。
- (3) 連携型入学者選抜に漏れた者は、一般入学者選抜に志願できる。

[参考] 「学習のまとめ」レポートの作成及び「学習のまとめ」発表について

1 「学習のまとめ」レポートの作成

(1) 内容

「白い森学習」における探究的な学習活動の中で、何に課題意識を持ち、どのように調査・研究し、何を学んだかなどについてまとめる。学習したことを踏まえ、自分なりの考えや小国町に対する提案・提言、また、高校入学後の展望も記す。小国町保小中高一貫教育の目指す児童生徒像及び小国高校が求める生徒像が見えるものが望ましい。必要に応じて写真や図表等を掲載し、内容が読み手に伝わるよう工夫する。

[参考] レポートの構成例

- 1 個人テーマ・設定理由
- 2 学習の概要
- 3 調査・実験・観察結果
- 4 考察・提案・提言
- 5 まとめ・感想

<番号の順序>

- I.
- (I)
- ①
- (ア)
- (イ)...

(2) 様式(次頁も参照)

- ① 文書作成ソフトウェア(Google ドキュメント等)を使用し、作成する。
- ② 用紙サイズはA4判とし、片面使用、縦置き、横書きとする。分量は、表紙を含めて、5~6枚程度とする。1 ページあたりの字数は、1 行を 35 字とし、35~40行とする。
- ③ 表紙に「学習のテーマ」と学校名、氏名を記入する。表紙にはページを入れず、本文からページ数を入れる。
- ④ 本文のフォント及びフォントサイズは指定しない。各自で見やすさを考慮して使用する。
- ⑤ 文書はページ順に重ね、表紙を一番上にし、左端をホチキスで3か所綴じる。

2 「学習のまとめ」発表

- (1) 受検者は、「面接割振表」により指定された時間内に本校正面玄関にて受付をする。最初の受付は11時に開始する。
- (2) 発表時間は5分間とする。6分を超えても発表が終わらない場合は、面接官の指示により発表を終了する。
- (3) 発表では、プレゼンテーションソフト(Google スライド等)を使用する。事前にオフラインでも使用できるようにしておくこと。
- (4) 受検者は、発表機器として、GIGAスクール構想により整備された1人1台端末を使用する。また、その他発表に必要な機器や資料(ポインター、発表原稿等)を持ち込むことができる。ケーブル、プロジェクター、スクリーンについては、高校が準備したものを使用する。
- (5) 停電等によりプレゼンテーションソフトを使用した発表ができない場合は、口頭で発表する。
- (6) インフルエンザ等に罹患している場合や、発熱・咳等の症状(37.5度以上の発熱、呼吸困難、倦怠感、味覚障害、嗅覚障害、咳、のどの痛み)を発症している場合は、面接時間帯をずらして対応する。
- (7) 「学習のまとめ」発表については、令和7年1月27日(月)に本校で指導の機会を設ける。

<様式>

1枚目(表紙)

山形県立小国高等学校連携型入学者選抜
「学習のまとめ」

個人テーマ

小国町立 中学校

氏名

高校側で右上に受験番号をナンバリングするため、上余白を55mm程度とる。

表紙ページの字の大きさや行数については指定しない。
この例にならって見やすいように工夫する。

左端をホチキスで3か所綴じる。

2枚目以降

1. 個人テーマ・設定理由
○○○○ ~ ○○○○
○○○○○

2. 学習の概要
(1)○○○○ ~ ○○○○
①○○○○○
②○○○○○
③○○○○○
(2)○○○○ ~ ○○○○

1

○○○○ ~ ○○○○
○○○○○

5. まとめ・感想
(1)○○○○ ~ ○○○○
○○○○○
(2)○○○○ ~ ○○○○
○○○○○
(3)○○○○ ~ ○○○○
○○○○○

5

本文のフォント・サイズについては指定しない。
見やすいように各自工夫する。

Ⅱ 推薦入学者選抜

Ⅰ 志願

県内志願者

(1) 志願資格

次の各号に該当するものとする。

- ① 令和7年3月に県内の中学校、これに準ずる学校（特別支援学校の中学部）又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

ア 本校の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。

イ 本校での学習に対する適性、興味及び関心を有すること。

ウ 以下の出願要件のうち、「1 地域協働に係る要件」と、2～4の要件のいずれか一つに該当する者。

1 地域協働に係る要件

- ・ 小国町の自然や文化に魅力を感じ、地域の中で前向きに活動しようとする者
- ・ 周りの人々と協働しながら、教科の学習や探究活動、課外活動等に主体的に取り組もうとする者

2 成績評定概況に係る要件

評定合計が23以上の者

3 特別活動に係る要件

生徒会活動や部活動において、主体的に活動した経験がある者

4 校外活動に係る要件

ボランティア活動や課外活動、その他校外で行われる諸活動において、主体的に活動した経験がある者

- ② 合格した場合は、入学が確約できる者。

(2) 通学区域

南学区

(3) 募集する学科及び人員

全日制の課程 普通科 入学定員40名の内、県外からの入学生を含めて50%以内

(4) 志願制限

- ① 志願は、1人1校1学科とする。

- ② 推薦入学者選抜と中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜の併願はできない。

- ③ 本校が行う推薦入学者選抜には、本校に係る連携型中学校の生徒は志願することはできない。

(5) 学区外志願

事情により学区外の中学校から志願する場合は、学区外高等学校志願許可願（様式第5号A）と学区外志願の理由を証明するに足る書類及び誓約書（様式第5号C）、それぞれ1部を県教育委員会教育長（郵送は高校教育課長あて）に提出し、県教育委員会が送付する学区外高等学校志願許可書（様式第5号B）を入学願書に添付すること。

なお、各様式は山形県のホームページからダウンロードすることができる。

[https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyase
nnbatu.html](https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyase
nnbatu.html)



(6) 出願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 推薦入学願書

「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

なお、東日本大震災により被害を受けたと認められる場合は、入学者選抜手数料及び入学料免除を受けることができる。詳細は以下のURLまたは右のQRコードを参照すること。

[https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/shingakushien
/jukenryo.html](https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/shingakushien
/jukenryo.html)

イ 自己推薦書（様式推第2号B）

ウ 中学校発行の調査書

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書

本校校長が、その提出を認めたとき。

C その他の書類

ア 中学校長は、本校校長に、「評定概況」を1部提出する。ただし、特別支援学校からの志願者については提出を要しない。

② 書類の提出

上記①のA～Cは、「推薦入学者選抜志願者名簿」を添え、在籍中学校長を経由して本校校長に提出する。なお、受付期間は、令和7年1月20日（月）から1月24日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する）。



県外志願者

(1) 志願資格

令和7年3月に中学校、これに準ずる学校（特別支援学校中学部）又は義務教育学校を卒業する見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。

① 以下の出願要件を満たしていること。

ア 地域協働に係る要件

- ・ 小国町の自然や文化に魅力を感じ、地域の中で前向きに活動しようとする者
- ・ 周りの人々と協働しながら、教科の学習や探究活動、課外活動等に主体的に取り組もうとする者

イ 県外からの志願に係る要件

- ・ 小国町で学びたいという意欲を持ち、本校が指定した個別説明会に保護者とともに参加した者（オンラインでの参加を含む）
- ・ 上記個別説明会後に小国町担当者および本校校長との面談を行い、本校の教育活動を受けることが適当であると認められた者（オンラインでの面談を含む）
※ 上記個別説明会及び面談にこれから参加しようとする者は、速やかに小国町教育委員会高校魅力化推進室（TEL0238-62-2141）に連絡すること。

② 合格した場合は、入学が確約できる者。

(2) 募集する学科及び人員

全日制の課程 普通科 8名程度

(3) 志願制限

志願は、1人1校とする。

(4) 進路等相談

中学校長は、必要がある場合は、令和7年1月16日（木）17時までに、本校校長に健康及び身体の状況について相談を行うことが望ましい。

(5) 出願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 推薦入学願書

「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

なお、山形県収入証紙の購入方法については、山形県のホームページを参照すること。

https://www.pref.yamagata.jp/480001/kensei/zaisei/2nd_kenshoshi/yuso.html



イ 自己推薦書（様式推第2号B）

ウ 中学校発行の調査書（様式は山形県のホームページからダウンロード可能）

エ 県外志願者受入れ校への届出書（様式第5号F）

オ 山形県立小国高等学校以外の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の
証明書（任意様式）

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書（様式第8号）

本校校長が、その提出を認めたとき。（用紙は本校で用意する。）

② 書類の提出

上記①のA～Bは、「推薦入学者選抜志願者名簿」（様式推第6号）を添え、在籍
中学校長を経由して本校校長に提出する。なお、受付期間は、令和7年1月20日
（月）から1月24日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着
とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及
び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形
長3号封筒を同封する）。

調査書、推薦入学者選抜志願者名簿の様式は山形県のホームページからダウンロ
ードすることができる。

[https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyasennb
atu.html](https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyasennb
atu.html)



2 作文、面接

志願者について、次により作文及び面接を課す。

(1) 日時 令和7年2月3日（月）

時間	教科等
8:45 ～ 8:55	受付
9:00 ～ 9:50	作文
10:00 ～ 10:45	面接

※ 面接の終了時間は受検者により異なる。

(2) 受付場所 本校正面玄関（事務室前）

(3) 会場 本校

(4) 内容と方法

① 作文 本校の志望理由及び入学後の目標について600字程度で記述する。

② 面接 志望理由、出願要件に係る事項、入学後にやってみたいこと等について
の質問に答える。形態は個人面接とし、面接時間は5分程度とする。

(5) 携帯品 受検票、筆記用具、上履き

3 選抜

選抜は、調査書、面接、作文の結果を総合して行う。

(1) 選抜規準

調査書学習の記録（A）、調査書学習の記録以外（B）、面接（C）、作文（D）の比率
は、A 10 : B 20 : C 40 : D 30とする。

(2) 作文、面接の評価の観点及び評価の段階

作文、面接共に以下の4観点についてA～Dの4段階で評価する。

- ① 主体性がある ② 思考力・判断力がある ③ 表現力が優れている
④ 小国町及び本校の教育活動への関心がある。

- (3) 選抜結果については、「推薦入学者選抜結果通知書」を中学校長あて親展扱いで、簡易書留郵便にて令和7年2月10日(月)必着で送付する。また、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は、令和7年3月17日(月)14時に行う。「合格者受検番号一覧」を合格者発表専用Webサイトに掲載するとともに、本校正面玄関前に掲示する。なお、合格者発表専用Webサイトへのアクセス方法については、後日、受検票とともに配付する。

4 志願変更の手続

推薦入学者選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。

県内志願者の内、推薦入学者選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者は、新たに一般入学願書の提出が必要となる。ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。

(1) 本校への志願

一般入学願書とともに、先に交付された受検票を、中学校長を経由して本校校長あて提出し、新たに受検票の交付を受ける。

(2) 他の高等学校への志願

- ① 他の高等学校へ志願変更を希望する者は、先に交付された受検票を貼った志願変更願(様式推第5号)を、本校校長あて提出する。

- ② 志願変更願を受理した本校校長は、推薦入学願書の写しを交付する。

なお、郵送による受理及び交付は行わない。

- ③ 志願変更を希望する者は、志願変更先高等学校の一般入学願書に、交付された推薦入学願書の写しを付し、中学校長を経由して、一般入学者選抜の入学願書受付期間中に、志願変更先高等学校長あて提出し、新たに受検票の交付を受ける。

なお、中学校長は、一般入学者選抜志願者名簿の備考欄に「志願変更」と記載し、志願変更先高等学校長へ提出する。

- ④ 志願変更の場合に必要な書類は、12ページの(6)に準ずるものとする。ただし、入学者選抜手数料の納付については、次のとおりとする。

次のいずれの場合であっても、一般入学願書の山形県収入証紙貼付箇所の上の部分に「志願変更」と朱書する。

ア 県立高等学校間の場合

- ・ 同一課程間の志願変更にあっては、改めて納付を要しない。
- ・ 定時制の課程から全日制の課程への志願変更にあっては、入学者選抜手数料の差額分1,250円の山形県収入証紙を志願変更先高等学校の一般入学願書に貼る(消印はしない)。

- ・ 全日制の課程から定時制の課程への志願変更にあっては、納付を要しない。
ただし、入学者選抜手数料の差額分については返却しない。

イ 県立高等学校と市立高等学校間の場合

- ・ 12ページの(6)に準じ、改めて納付する。ただし、先に納付した分については返却しない。

Ⅲ 一般入学者選抜

Ⅰ 志願

県内志願者

(1) 募集する学科及び人員

全日制の課程 普通科

入学定員40名から中高一貫教育における連携型入学者選抜及び推薦選抜の合格内定者数を減じた数。

(2) 志願資格

次の各号の一に該当する者。

- ① 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校（特別支援学校中学部）又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- ② 中学校を卒業した者。
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

(3) 通学区域

南学区

(4) 志願制限

志願は、1人1校とする。

(5) 学区外志願

事情により学区外から本校に志願する場合は、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願（様式第5号A）1部を県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付する学区外高等学校志願許可書（様式第5号B）を一般入学願書に添付すること。一家転住等の理由による場合は、上記の許可願に、学区外志願の理由を証明するに足る書類及び誓約書（様式第5号C）それぞれ1部を添付すること。

なお、各様式は山形県のホームページからダウンロードすることができる。

[https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyase
nnbatu.html](https://www.pref.yamagata.jp/700013/koko/20240214r7nyuugakusyase
nnbatu.html)

ただし、次の場合は、学区外高等学校志願許可願の提出を必要とせず、以下のように取り扱う。

- ① 令和5年度以前の卒業者で、本校が出身中学校の学区外、かつ、現在の居住地が本校の学区内である場合。その際、住民票等を一般入学願書に添付すること。
- ② 区域外就学者の場合。その際、区域外就学承諾書の写しを一般入学願書に添付すること。



(6) 出願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 一般入学願書

県立高等学校志願者は、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

なお、東日本大震災により被害を受けたと認められる場合は、入学者選抜手数料及び入学料免除を受けることができる。詳細は以下のURLまたは右のQRコードを参照すること。

<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/shingakushien/jukenryo.html>

イ 中学校発行の調査書

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書

本校校長がその提出を認めたとき。

イ 学区外高等学校志願許可書

県教育委員会に「学区外高等学校志願許可願」を提出し許可を受けたとき。

ウ 推薦入学者選抜受検票又は連携型入学者選抜受検票

本校の推薦入学者選抜又は連携型入学者選抜に漏れた者が、本校に志願するとき。

エ 推薦入学者選抜願書の写し、連携型入学者選抜願書の写し又は前期（特色）選抜入学願書の写し

他の高等学校の推薦入学者選抜、連携型入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者が、本校に志願するとき。

オ 在籍高等学校長の志願承諾書（在籍高等学校の任意様式）

高等学校に在籍のまま志願するとき。

カ 住民票等

令和5年度以前の卒業者で、本校が出身中学校の学区外、かつ、現在の居住地が本校の学区内であるとき。

キ 区域外就学承諾書の写し

区域外就学者のうち、現在の居住地が本校の学区内であるとき。

C その他の書類

中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。ただし、特別支援学校、令和5年度以前の卒業者からの志願者については、提出を要しない。

② 受付期間

令和7年2月17日（月）から2月21日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出



身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する)。

③ 書類の提出

上記①のA～Cは、「一般入学者選抜志願者名簿」(様式第9号)を添え、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出する。

なお、推薦入学者選抜、連携型入学者選抜及び前期(特色)選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて記入し提出する。

その際、本校校長は、新たに受検票を交付する。

④ 提出書類に関する留意点

ア 一般入学願書

取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行う。

イ 調査書、評定概況、学区外志願に係る書類、自己申告書

推薦入学者選抜の志願にかかわって本校に提出済の場合は、提出を要しない。

県外志願者

※ 一家転住等の理由または新潟県岩船郡関川村から「通学の便」を理由として志願する場合及び外国からの志願者は、次頁(5)、(6)をそれぞれ参照すること。

(1) 募集する学科及び人員

全日制の課程 普通科 2名

ただし、志願倍率が1倍を超えない場合は、2名を超えて合格とすることがある。

(2) 志願資格

次の各号の一に該当する者。

- ① 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校（特別支援学校中学部）又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- ② 中学校を卒業した者。
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

(3) 志願制限

志願は、1人1校とする。本校に出願した場合、本校以外の公立高等学校に同時に志願することはできない。

(4) 進路等相談

中学校長は、入学者選抜にあたって特別な配慮等、必要がある場合は、令和7年1月31日（金）17時までに本校校長に、健康及び身体の状態、進路希望等について相談を行うことができる。

(5) 出願

① 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

ア 一般入学願書

「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないこと。

なお、東日本大震災により被害を受けたと認められる場合は、入学者選抜手数料及び入学料免除を受けることができる。詳細は以下のURLまたは右のQRコードを参照すること。



<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/shingakushien/jukenryo.html>

イ 中学校発行の調査書（様式は山形県のホームページからダウンロード可能）

B 個別に必要な書類

ア 自己申告書（様式第8号）

本校校長がその提出を認めたとき。（用紙は本校で用意する。）

イ 推薦入学者選抜受検票

本校の推薦入学者選抜に漏れた者が、本校に志願するとき。

ウ 推薦入学者選抜願書の写し又は前期（特色）選抜入学願書の写し

他の高等学校の推薦入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者が、本校に志願するとき。

エ 在籍高等学校長の志願承諾書（在籍高等学校の任意様式）

高等学校に在籍のまま志願するとき。

オ 県外志願者受入れ校への届出書（様式第5号F）

カ 山形県立小国高等学校以外の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書（任意様式）

② 受付期間

令和7年2月17日（月）から2月21日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする（郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する）。

③ 書類の提出

上記①のA、Bは、「一般入学者選抜志願者名簿」（様式第9号）を添え、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出する。

なお、推薦入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者で、一般入学者選抜を志願する者については、「一般入学者選抜志願者名簿」に含めて記入し提出する。

その際、本校校長は、新たに受検票を交付する。

④ 提出書類に関する留意点

ア 一般入学願書

取消しや締切り前の志願変更は、必ず公文書を添えて行う。

イ 調査書、学区外志願に係る書類、自己申告書

推薦入学者選抜の志願にかかわって本校に提出済の場合は、提出を要しない。

(6) 一家転住等の理由または新潟県岩船郡関川村から「通学の便」を理由として志願する場合

県外から本校に志願する者は、当該都道府県の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願（様式第5号A）1部を本県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付する学区外高等学校志願許可書（様式第5号B）を一般入学願書に添付する。

① 一家転住等の理由による場合は、上記許可願に、学区外志願の理由を証明するに足る書類及び誓約書（様式第5号C）それぞれ1部を添付すること。

② 新潟県岩船郡関川村から、「通学の便」を理由として本校へ志願する場合は、本県教育委員会において、本校への志願について審査のうえ、許可する。

(7) 外国からの志願

① 外国から本校に志願する者で、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業生については、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願（様式第5号A）と、帰国先の住民票又は本県への転住の理由を証明する公的証明書等及び誓約書（様式第5号C）それぞれ1部を、本県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付する学区外高等学校志願許可書（様式第5号B）を一般入学願書に添付する。

- ② 外国から本校に志願する者で、日本人学校在籍者及び日本人学校卒業者以外の者については、令和6年12月末を目途に志願資格の有無を判定するための書類（卒業証明書など）を、本校へ提出する。その後、志願資格が認められた者については、上記(6)の①と同様の手続きとする。

(8) その他

本校に県外から志願し入学する生徒が保護者と離れて生活する場合は、保護者が住居と保護者に代わり指導や世話をを行う世話人を定めることが必要となる。

山形県小国町では、県外から本校へ入学を希望する方を対象に、住居や世話人等の支援を行う「小国町白い森留学制度」を設けている。この制度の活用を希望する場合は、速やかに小国町教育委員会高校魅力化推進室（TEL0238-62-2141）に連絡すること。

2 学力検査等

(1) 出題方針

- ① 中学校学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、内容の基本的な事項について出題する。
- ② 解答が偶然性に支配されたり、単なる記憶の検査に偏ったりしないように、理解力、思考力、判断力、表現力などを検査できるように配慮し、客観式及び記述式を組み合わせ出題する。
- ③ 出題領域は、特定なものに偏ったりしないように、できるだけ広範囲から出題する。

(2) 検査教科

国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とする。

(3) 検査日時

令和7年3月7日（金）

時間	教科
8:10 ~ 8:25	受付
8:50 ~ 9:40	国語
10:00 ~ 10:50	数学
11:10 ~ 12:00	社会
12:50 ~ 13:40	理科
14:00 ~ 14:50 〔14:00 から約 10 分間は リスニングテスト〕	外国語 (英語)

(4) 受付場所

本校正面玄関（事務室前）

(5) 検査会場

本校教室

(6) 検査教科の配点

国語、社会、数学、理科、外国語（英語） 各 100 点

(7) 携帯品

受検者は、受検票、上履き、昼食のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り

[注意事項]

- ① 鉛筆（シャープペンシルを含む）の芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
- ② 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
- ③ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。
- ④ 下敷の使用は認めない。
- ⑤ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
- ⑥ 時報付腕時計等については音が出ないように調整しておくこと。
- ⑦ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

3 面接

- (1) 日時 令和7年3月7日（金）学力検査終了後
- (2) 方法 1組4名程度の集団面接とし、面接時間は15分程度とする

4 選抜

(1) 選抜の方法

選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。

- ① 選抜は、学力の総合段階及び調査書中の記載事項を主な資料として行う。なお、本校校長が必要と認め、自己申告書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。
- ② 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、5：5とする。

(2) 国立諸学校に合格した志願者の取扱い

在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。

在籍又は出身中学校長は、令和7年3月4日（火）12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に対して、文書（様式第6号）によって報告するものとする。その際、合格した国立諸学校に入学する者については、高等学校の受検票を添付すること。なお、令和7年3月3日（月）において、合否が未定の場合は、諾否の記載欄に「未定」と記載すること。「未定」と記載した者の合否が、その後判明した場合は、入学の諾否を在籍又は出身中学校長が、本校校長に対して、速やかに電話連絡した上で、文書によって報告すること。

(3) 合格発表

合格者の発表は、令和7年3月17日（月）14時に、「合格者受検番号一覧」を合格者発表専用 Web サイトに掲載するとともに本校正面玄関前に掲示する。なお、合格者発表専用 Web サイトへのアクセス方法については、後日、受検票とともに配付する。また、合格者へは「合格通知書」を送付する。

5 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼ったもの）を提出すること。

返信用封筒の記載例

The image shows a return envelope with the following details:

- Postage stamp: 切手 460 円 (Postage 460 Yen)
- Postage meter number: 999-1352
- Recipient name: 小国 太郎 様 (Kouni Taro)
- Address: 西置賜郡小国町大字岩井沢六二一 (Nishizumigun Kouni-chou Oodai Iwaiwazawa 621)
- Handling instructions: 親展 (Personal delivery) and 簡易書留 (Registered mail).

6 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査、面接（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

① 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

- ア 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
- イ 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

② 追検査の受検を希望する者の在籍又は出身中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。

- ア 3月6日(木)までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を3月6日(木)15時までに本校校長へ電話連絡する。
- イ ②のア以降、3月7日(金)本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに本校校長へ電話連絡する。
- ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月10日(月)15時までに、次の(ア)、(イ)の書類を本校校長あて提出する。なお、やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで本校校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。

(ア) 追検査受検願(様式第10号)

(イ) 医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類

エ 対象者に対して受検に当たり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を本校校長に連絡する。

(3) 追検査の内容及び日時等

① 学力検査等及び面接について

内容は上記「2 学力検査等」「3 面接」に準ずる。

② 検査日時

令和7年3月12日(水) 学力検査(時間は本検査に同じ)・面接

③ 受付場所

本校正面玄関(事務室前)

④ 検査会場

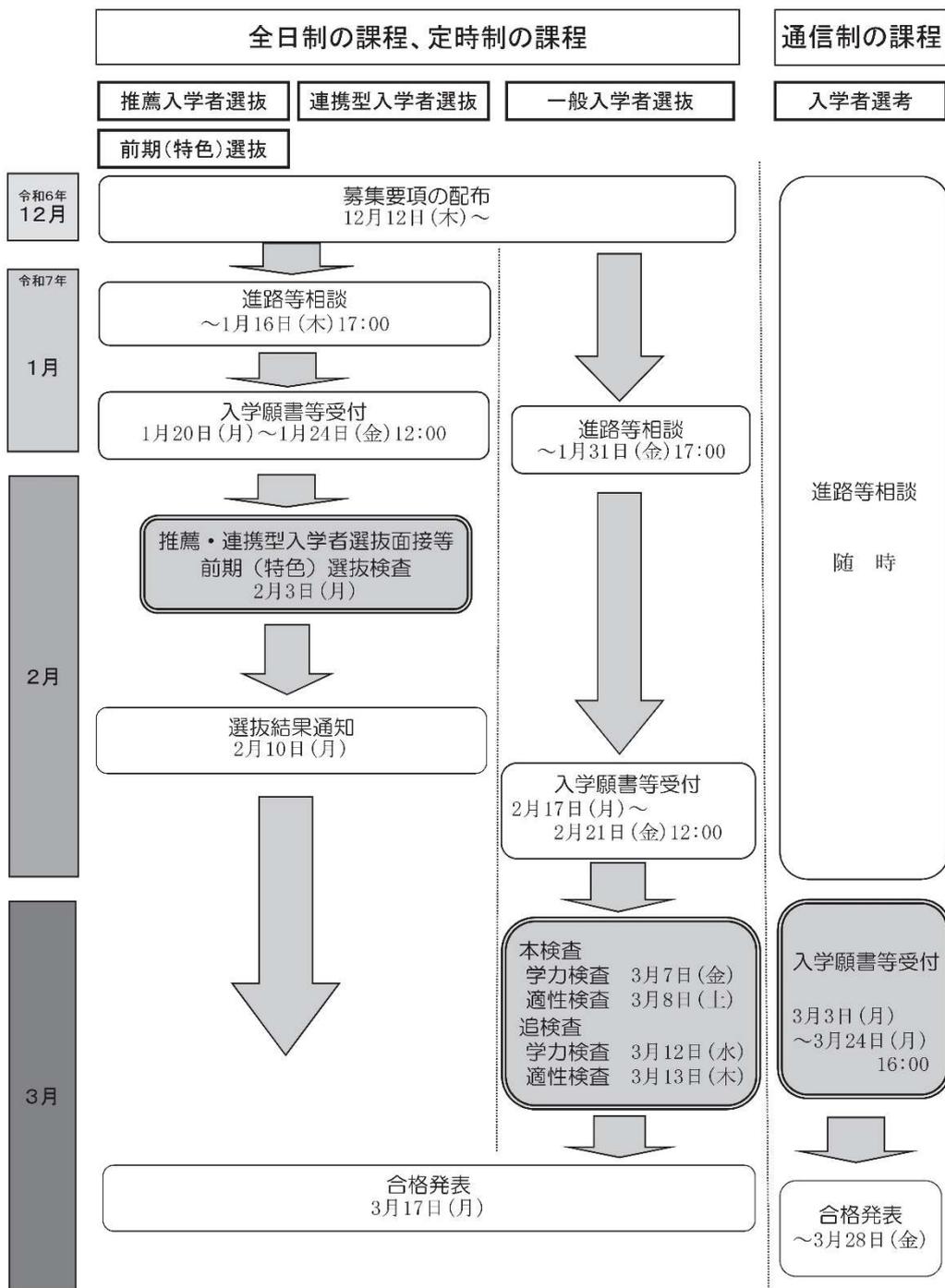
本校教室

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

参 考 資 料

I 令和7年度山形県公立高等学校入学者選抜日程



2 諸経費（令和6年度実績）

（1）入学時経費

① 入学料（山形県収入証紙）	5,650円
② 学年諸経費入学時納付金	20,000円
③ 入学時必要経費	
ア 制服一式	
男子	69,630円
女子	68,970円
イ 指定運動着一式	18,480円
ウ 指定内履き	4,510円
エ 教科書（各教科・科目合計）	
音楽Ⅰ選択の場合	10,202円
美術Ⅰ選択の場合	12,519円
書道Ⅰ選択の場合	10,234円
オ 副教材費（資料集・問題集など）	10,569円

※ 他に、希望者を対象に辞書（国語辞典・漢和辞典・英和辞典）の販売を行います。電子辞書をお持ちの方は、それを使用しても構いません。

（2）学校徴収金（PTA会費・後援会費・学年諸費・学年積立金（研修旅行に係る積立金を含む）など） 月額 26,200円

（3）授業料 年額 118,800円

※ 就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。詳しくは別途配付されるお知らせをご覧ください。

3 合格者オリエンテーション

合格者オリエンテーションを次により行います。なお、案内は「合格通知書」と同時に送付します。合格者並びに保護者の参加を原則とし、本校の様々なルールや新生活への心構え等、より良いスタートが切れるよう、各担当より説明を行います。必ず出席できるよう、ご都合をつけてください。

（1）日時 令和7年3月26日（水）9時より（予定）

（2）内容

① 本校の概要について	② 学校生活について
③ 健康管理について	④ 学習について
⑤ PTA・後援会について	⑥ 進路について
⑦ 事務手続きについて	⑧ 教科書・副読本販売
⑨ その他（一斉メールサービス登録）	

4 教育課程（令和7年度入学者）

課程				全日制	学科	普通科		備考			
類型名称				学年別単位数							
教科	科目	標準単位数		1年	2年		3年		計		
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)				共通	共通	選択	共通	選択			
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語	現代の国語	2	◎	2				2	①科目組合せ <1年> 芸術は「音楽Ⅰ」、「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」より1科目(2単位)を選択。 <2・3年> 同一記号のついた科目群については、特記なき場合、各選択群から1科目を選択。 (注1)2年時の芸術Ⅱの「音楽Ⅱ」、「美術Ⅱ」、「書道Ⅱ」はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修可。 (注2)2年時の「国語表現」と「芸術Ⅱ」は合わせて4単位として選択。 (注3)3年時の「フードデザイン」と「情報処理」、「ビジネス数学」と「簿記/服飾手芸」は合わせて4単位として選択。 (注4)3年時の「国語表現」、「数学Ⅱ」、「ビジネス基礎」、「情報処理」は2年の同一科目を履修した者が継続履修。 (注5)3年時の「論理基礎Ⅱ」、「ビジネス英語Ⅱ」はそれぞれに対応するⅠを付した科目を履修した後に履修可。 (注6)3年時の「英語コミュニケーションⅢ」はそれぞれに対応するⅡを付した科目を履修した後に履修可。 ②学校設定科目:「ビジネス英語Ⅰ」令和2年度開設、「ビジネス数学」及び「ビジネス英語Ⅱ」令和3年度開設、「論理基礎Ⅰ」令和5年度開設、「論理基礎Ⅱ」令和6年度開設。 ③「学校外体験」は学校設定教科である(平成18年度開設)。また、学校外学修の単位を認定する教科であり、大学・短大・専修学校等での学修は「校外学習」、各種検定試験合格は「技能審査」、長期インターンシップは「体験活動」の各科目に該当。	
		言語文化	2	◎	2				2		
		文学国語	4			2			3		5
		国語表現	4				2		□3		0・5
		論理基礎Ⅰ	2	●				■2			0・2
	論理基礎Ⅱ	3	●					■3	0・3		
	地理歴史	地理総合	2	◎		2					2
		地理探究	3						□3		0・3
		歴史総合	2	◎	2						2
	公民	公共	2	◎		2					2
		政治・経済	2						△2		0・2
	数学	数学Ⅰ	3	◎	4						4
		数学Ⅱ	4				△2		▲2		0・4
		数学A	2			2					2
		数学B	2				□		△2		0・2
		ビジネス数学	2	●					2		0・2
	理科	科学と人間生活	2	◎	2						2
		物理基礎	2				▲3				0・3
		化学基礎	2	○		2					2
		生物学	4						◇4		0・4
	保健体育	体育	7~8	◎	3	3		3			9
		保健	2	◎	1	1					2
	芸術	音楽Ⅰ	2	○	2						0・2
		音楽Ⅱ	2				2				0・2
美術Ⅰ		2	○	2					0・2		
美術Ⅱ		2				2		◆	0・2		
書道Ⅰ		2	○	2					0・2		
書道Ⅱ		2				2			0・2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3					3		
	英語コミュニケーションⅡ	4				□4			0・4		
	英語コミュニケーションⅢ	4						◆4	0・4		
	ビジネス英語Ⅰ	2	●			■2			0・2		
	ビジネス英語Ⅱ	3	●					■3	0・3		
家庭	家庭総合	4	◎	2	2				4		
情報	情報Ⅰ	2	◎	2					2		
主として開設される各教科において	商業	ビジネス基礎	2~4				△2		▲2	0・4	
		簿記	2~6						2	0・2	
		情報処理	2~6				▲3		2	0・5	
	家庭	生活と福祉	2~4					3	◇	3	
		服飾手芸	2~4						2	0・2	
	フードデザイン	2~6						2	0・2		
総合的な探究の時間「白い森未来探究学」		3~6	◎	2	2		2		6		
合計				29	18	11	11	18	87		
卒業までに修得すべき単位数				74							
学校外学修	学校外体験	校外学習	●	0~1	0~1		0~1	0~3	大学等での学修		
		技能審査	●	0~15	0~15		0~15	0~15	検定試験合格		
		体験活動	●	0~2	0~3		0~2	0~7	長期休業中のインターンシップ		
特別活動	ホームルーム活動			1	1		1	3	毎週金曜日6校時		
	生徒会活動(時間)			35	35		35	105	対面式、全校生ファンリテーション研修、生徒総会、応援練習、いじめ防止グループ討議、全校集会、プレサミット、サミット準備、サミット振り返り、読書会、生徒会役員選挙立会演説会・投票、小国フェス準備、振り返りワークショップ		
	学校行事(時間)			60	80		50	190	新任式、1学期始業式、大掃除、入学式、新入生ガイダンス、身体測定、マイプロ合宿、創立記念式典・講演会、GRADE MATCH、防災訓練、インターンシップ、1学期終業式、全国高等学校小規模校サミット・振り返り、2学期始業式、オンライン国際研修、研修旅行、白い森おぐに教育フォーラム、小国フェス、2学期終業式、3学期始業式、薬物乱用防止講話、表彰式、同窓会入会式、卒業証書授与式、修了式、離任式		
授業の1単位時間				50分							